

バーベキューコンロの組み立て方



●内容物

本体

脚×4

目皿

ハンドル

チャッカマン(写真には写っていません)

炭バサミ(写真には写っていません)

うちわ(写真には写っていません)

専用箱(写真には写っていません)

専用バッグ(写真には写っていません)

組み立て方



目皿を本体の中に入れてください。



本体下に付いているネジを緩めて脚を差し込み再びネジを締めます。

その際、4本共に脚の高さが同じになるように調整してください。



本体の両脇にハンドルをつけて完成です。

バーベキューコンロのしまい方

※バーベキューコンロをしまう際には、火種が残っていないこと、温度が下がっていることを必ず確認してください。



コンロ本体の横四隅にあるネジを緩めて脚を外します。
脚を外した後、必ずネジを締め直してください。



バーベキューコンロ本体の中に
目皿
脚×4本
ハンドル×2
炭バサミ×1 を入れます。

チャッカマンは絶対に入れないでください



付属のビニール袋に入れ、専用箱に入れます。



箱ごと、専用バッグに入れ、ひもで結び、うちわ、チャッカマンを同封し、ふたを掛けて完了です。

※チャッカマンは箱の横に入れてください。

炭への着火方法



バーベキューコンロの目皿の上に着火剤を置きます。



炭を入れた火起こし器(写真には炭が入ってません。すみません(^^))を着火剤の上に安定性よく置き、横の着火口より着火剤に火をつけてください。



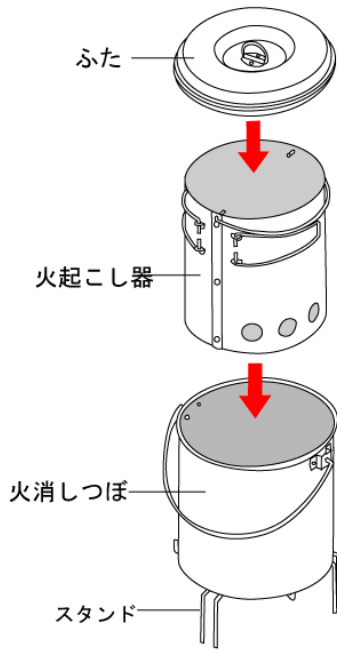
煙突効果により、効率良く火が起こせます。炭は火起こし器の中で立てて入れて着火させるほうがより効率がいいようです。

炭火が起きて火力が安定したら、炭を炭バサミでバーベキューコンロの本体に移し替えてください。

警告！！ Warning!!

1. **着火作業、消火作業、及びバーベキューは絶対にタープの下でしないでください。**
2. **燃焼中は着火剤のつぎたしは絶対にしないでください。やけどの原因になります。**
3. 着火の際は、必ずチャッカマン等の着火用ライターで着火してください。
4. 使用する着火剤の注意事項をよく読んで、やけど等には十分に気をつけてください。
5. 熱に弱い物の上や、卓上での火起こしは絶対にしないでください。
6. 炭をつかむ際は、必ず炭専用の炭バサミを使用してください。

消火方法



火消しつぼの中に火起こし器を入れ、スタンドの上に置いて下さい。

※火消しつぼは必ずスタンドの中央に安定性よく置いて下さい。

火の付いている炭を炭バサミを使って火消しつぼ(火起こし器)の中に入れてください。

すべて入れ終わったら、**水をかけて確実に消火し、ふたをして完全に密封してください。**

最低一時間はそのままの状態にし、火消しつぼが完全に冷めるまでふたを開けないでください。

※消火する水は絶対に海水を使用しないでください。

※消火済みの炭は火消しつぼの中に入れてそのまま返却いただいて構いません。

警告！！ Warning!!

1. **火消しつぼに炭を入れるとかなりの高温になりますので、絶対に触らないでください。**
2. **火傷に十分に注意してください。**
3. 木炭などの燃料は表面が消えていても中心に火種が残っている場合がありますので十分に注意してください。
4. 消火の確認は必ず慎重・確実に行ってください。燃料の消火が不完全だと、火災や火傷の恐れがあります。
5. 燃料の消火が不完全な状態で、火消しつぼを持ち運んだり、車に積み込んだりしないでください。火災や火傷の恐れがあります。

火消しつぼ 及び 火起こし器のしまい方



火消しつぼの中に火起こし器を入れてふたをします。

ふたの上にスタンドを乗せ、写真のように横の固定金具にスタンドの脚を差し込み、ネジで固定してください。

これで完了です。

持ち運びの際には絶対に横にしないでください。